

平成22年度

長浜北星高等学校（定時制） 学校評価

本年度の重点目標

- ・わかる授業、楽しい授業、学びがいのある授業を目指し、生徒の「学びの姿」に重点をおいた教科指導の充実を図る。
- ・勤労と学習の両立を目指し、異年齢集団の中での基本的な生活習慣や規律確立に向けて、生徒との交流を大切に、職員の協力体制を整える。
- ・情報発信を増やし、保護者や地域から理解と信頼を得られるように努める。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	教職員間の相互理解と協力関係に基づく教育活動を行っている。	A	A	A
	教職員間で日常的に教育課題について話し合っている。	B	A	A
2 学習指導	生徒の学習意欲を喚起する適切な評価を行っている。	A	A	A
	わかる授業を目指し、授業の方法などについて工夫・改善に努めている。	A	A	A
3 生徒指導	生徒の問題行動を防止する早期指導に取り組んでいる。	A	A	B
	生活指導上の問題について家庭との密接な連携を取っている。	B	A	A
	防災避難訓練をはじめ生徒の命と安全を守るよう指導している。	A	A	A
4 進路指導	生徒の進路希望実現に向けて指導を行っている。	B	B	A
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	B	A	A
5 特別活動等	学校行事や生徒会活動を積極的に行っている。	A	A	A
	学校行事を生徒にとって魅力あるものとするため、教員間の意思疎通が図られている。	B	A	B
6 学校図書館	生徒が読書に親しめるよう努めている。	C	C	C
7 保健・安全指導	カウンセリングマインドを磨くための努力をしている。	B	A	A
	生徒が健康を自己管理できるよう指導している。	B	A	A
8 人権教育	明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	A	A	A
	人権統一LHRや共同鑑賞等により人権意識を高める指導を行っている。	B	A	A
9 環境教育	光熱水費等の節減に日頃から配慮している。	A	A	A
	ISO14001の観点で、ごみの減量化と分別収集の徹底を図っている。	A	A	A
10 事務・管理	学校の施設・設備を、公共心にもとづき、適正に使用している。	B	A	A
	文書管理を適切に行っている。	A	A	A
11 その他 学校の取り組み	社会規範や市民道徳を守るよう、生徒を指導している。	A	A	A
	保護者との連携を密にすることで、信頼関係を築くように努めている。	B	A	A

(注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

学校のURL : <http://www.hokusei-h.shiga-ec.ed.jp/>